

取組の背景と方向

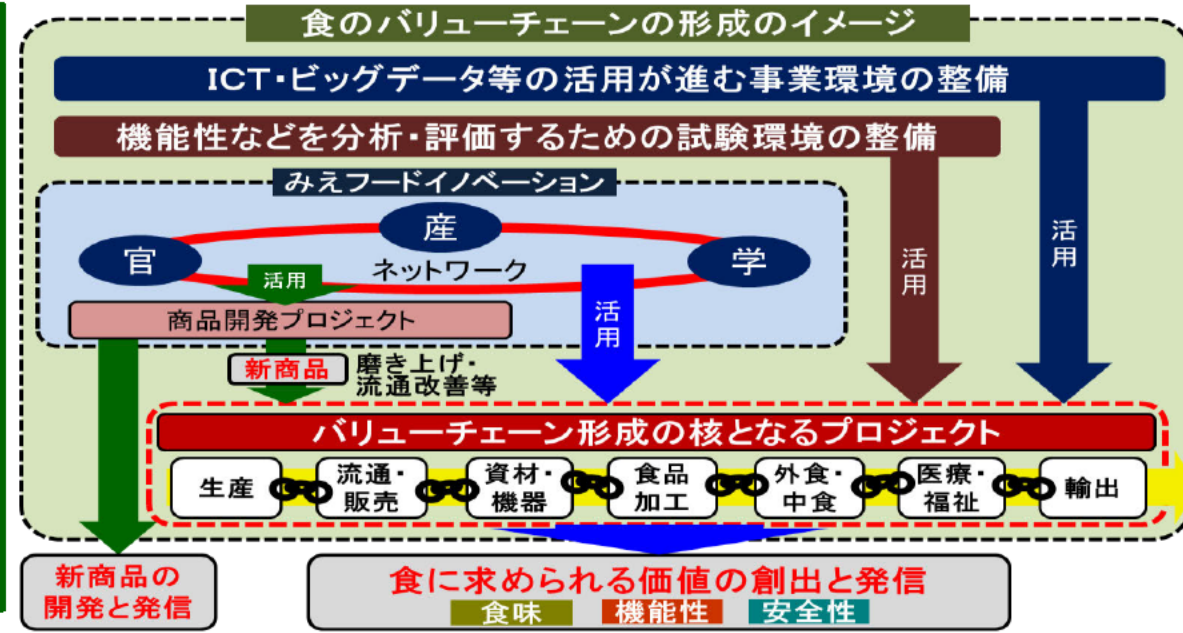
現在、県では、農林水産業の担い手の確保・育成や基盤整備等に加え、みえフードイノベーションの取組として、産学官連携による地域資源を生かした商品の開発や国内外への情報発信に努めています。

今後、さらに県産の農林水産物や食品が消費者等から支持を得るためには、みえフードイノベーションの取組と合わせ、最近進展が著しいICTやビッグデータの収集・分析技術等を活用するとともに、**生産者をはじめ関係する事業者等が連携、さらに有機的に連結(バリューチェーン化)し、それぞれの役割や機能を発揮するなかで、食に本来求められる価値(食味(品質)、機能性、安全性)を創出して、消費者に確実に提供していく必要があります。**

こうしたことから、

- 1 ICT・ビッグデータ等の活用が進む事業環境の整備
- 2 バリューチェーン形成の核となる新たな価値を創出するプロジェクトの展開
- 3 国内外におけるバリューチェーンの事業環境整備
- 4 ICTやビッグデータの活用で先行する国内外の都市・大学等との連携
- 5 バリューチェーンの形成に向けた推進体制の構築

に取組み、消費者が求める価値の創出とその発信につなげていきます。



ICT等の活用が進む環境の整備

■ ICT・ビッグデータ等の活用が進む事業環境の整備(事業費15,491千円)  
バリューチェーンの機能発揮、食に関連する企業等の新たな商品の開発やサービスの提供に向け、ICTやビッグデータの活用が促進される環境の整備

①データ・プラットフォームの構築	②ビッグデータの活用可能性調査	③機能性食材のデータバンクの構築	④機能性表示制度の構築
------------------	-----------------	------------------	-------------

【フードイノベーション課】

■ 機能性などを分析・評価するための試験環境の整備  
臨床試験が円滑に行われるよう、相談窓口の整備、大学等のネットワーク化

【健康福祉部】

バリューチェーン形成の核となるプロジェクトの展開

■ バリューチェーン形成の核となる新たな価値を創出するプロジェクトの展開(事業費18,517千円)  
商品に関する事業者が参画した新技術等開発のための品目別プロジェクトの展開 【フードイノベーション課】

＜プロジェクトの例＞

- 機能性食材開発販売PT(低リン・低加野菜、柑橘・海藻利用等) **機能性**
- 健康食品開発販売PT(臨床試験・伊勢茶活用サプリメントの開発) **機能性**
- 植物工場トマトPT(経験・勤による技のマニュアル化等) **食味 機能性**
- ICTを使ったスマート稲作推進PT **食味 機能性**
- 動画で学ぶ匠の農業技術早期習得PT **食味**

＜植物工場トマトPT＞  
スマホを使って作業を記録し、情報を発信・共有⇒作業データを分析し、食味改善等に生かす

事業環境整備

国内におけるバリューチェーンの事業環境整備		国外に向けたバリューチェーンの事業環境整備		
<p>■ 加工・業務用野菜等のバリューチェーンの形成促進(事業費9,479千円) <b>安全性</b> 小売や外食事業者の要請に的確に応じて生産から流通までをトレースバックできる体制の整備や加工・業務用需要に対応する事業体の取組支援</p> <p>【農産園芸課】</p>	<p>■ 機能性成分の発掘による地域農産物等のバリューチェーンの形成促進 <b>機能性</b> (事業費7,576千円) 地域活性化プランに取り組む集落等が開発した商品の機能性の分析・評価と商品力強化のためのコンサルテーションの実施</p> <p>【農業戦略課】</p>	<p>■ 園芸特産物の輸出促進(事業費13,848千円) <b>安全性</b> 輸出に対応した茶のJGAPの認証取得の推進、果樹の長期輸送に応じた品質保持技術の確立</p> <p>【農産園芸課】</p>	<p>■ ブランド牛肉の輸出促進(事業費42,905千円) <b>安全性</b> 平成26年度のフォローアップ、米国・EU向け輸出に主体的に取り組む生産者への支援</p> <p>【畜産課】</p>	<p>■ 水産物の輸出促進(事業費4,159千円) <b>安全性</b> 平成26年度の市場調査を踏まえ、商談会等BtoBの取組やHACCP認証取得の推進</p> <p>【水産資源課】</p>
<p>■ ICTやビッグデータの活用で先行する国内外の都市・大学等との連携(事業費7,279千円) 本県及び三重大学等と、ICTの活用やビッグデータの分析・活用で先行する国内外の都市・大学などの食の産業振興分野における連携</p> <p>【フードイノベーション課】</p>		<p>＜連携する内容(例)＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ビッグデータの共同収集・分析</li> <li>植物工場を活用した新たな野菜生産技術の共同実証</li> <li>健康データの活用による機能性食品等の共同開発</li> </ul>		

国内外の都市との連携

■ バリューチェーンの形成に向けた推進体制の構築(事業費1,559千円)  
「みえICTを活用した産業活性化推進協議会」における「食ワーキング(仮称)」の設置、バリューチェーンの形成に向けて中心となる事業者等によるワーキング活動の推進

【フードイノベーション課】

推進体制の構築

設置するワーキング(案)  
①生鮮品WG ②加工食品WG ③その他WG(和・洋菓子等)

みえICTを活用した産業活性化推進協議会

- 健康ワーキング
- 観光ワーキング
- 食ワーキング(仮称)